

鈴木 舞 & 川口成彦



モーツァルト! ヴァイオリン・ソナタ 全曲演奏会

第1回

「パリ・ソナタ集」

- ヴァイオリン・ソナタ 第25番 小長調 K.301
- ヴァイオリン・ソナタ 第26番 変ホ長調 K.302
- ヴァイオリン・ソナタ 第27番 小短調 K.304
- ヴァイオリン・ソナタ 第28番 小長調 K.303
- ヴァイオリン・ソナタ 第29番 小長調 K.305
- ヴァイオリン・ソナタ 第30番 小長調 K.306

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2021年 1月13日(水)
18:30 開場/19:00 開演

入場料【全5公演セット券】(全席自由席)

会員 20,000円/一般 23,000円/学生 12,000円

※5回セット券をご購入の方は、お客様の都合による払い戻しはできませんので予めご了承ください。

【1回券】(全席自由席)

会員 4,500円/一般 5,000円/学生 2,500円



鈴木 舞&川口成彦

モーツァルト・ヴァイオリンソナタ全曲演奏会

2021年1月13日(水) 18:30 開場/19:00 開演

入場料【全5公演セット券】(全席自由席)
 会員 20,000円/一般 23,000円/
 学生 12,000円 ※5回セット券をご購入の方は、
 お客様の都合による払い戻しはできませんので予め
 ご了承ください。

【1回券】(全席自由席)
 会員 4,500円/一般 5,000円/
 学生 2,500円



鈴木舞&川口成彦による、モーツァルト・ヴァイオリンソナタ全曲演奏がついに発動!!
 想像を超え、愛に満ち溢れたモーツァルトの音楽の旅へ——

【123シリーズ全曲プロジェクト】第4弾……

鈴木舞&川口成彦による、モーツァルトヴァイオリンソナタ全曲演奏がついに始動する!!

どこまでも美しく、純度の高い音楽を世に生み出した天才ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)。

その奇跡とも言える音楽の秘密に、二つの才能が挑む!!

鈴木舞&川口成彦は、モーツァルトへの敬愛が滲み出るような、渾身のプログラムを編み出した。

求道的な姿勢で音楽の本質を追究し、研ぎ澄まされた感性から生まれるインスピレーションをニコロ・アマティの美音によって紡ぎ出す鈴木舞のヴァイオリン。ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位を受賞し、新進気鋭の古楽器奏者として一躍注目を浴びる川口成彦のピアノは、モチーフの扱い方から細やかな発音に至るまで、配慮が行き届いており、音楽が薫ってくるように味わい深い。

その匠ともいえる技に、音楽とは時間の芸術だということに気づかされるのだ。

鈴木舞と川口成彦。今、奇跡とも言える二人の奏者のコラボレーションに、ときめきが止まらない。グリュミオー&ハスキル、パールマン&パレンボイムなど、多くの巨匠もこのモーツァルトのヴァイオリンソナタをレコードに残している。それほどに演奏家たちを突き動かすようなエネルギーが、何か秘められているのかもしれない。

モーツァルトの35年という短い人生の旅の途中には、立ち止まり、振り返り、駆け抜けたこともあったことだろう。その遺された楽譜や言葉から、現代に生きる私たちは、何を読みとればよいのだろうか。さあ、想像を超え愛に満ち溢れたモーツァルトの音楽の旅へ、共に旅立とう。

(美竹清花さろん)



鈴木舞 (SUZUKI Mai) Violin

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業し、ローザンヌ、ザルツブルグ、ミュンヘンでディプロマ、国家演奏家資格を取得。在学中より国内外でリサイタルやコンサートに出演し、これまでに小林研一郎、円光寺雅彦、飯森範親、ニコラス・ミルトン、ヨルマ・バスラ、イヴァン・レプシツらの指揮で、読売日響、東響、日本フィル、スイス・ローザンヌ室内管、フィンランド・クオピオ響、チェコ・モラヴィアフィル、ドイツ・ホーフ響、クロアチア放送響、ザグレブ・リステン等と共演。

2007年チャイコフスキー国際コンクール(ロシア) 最年少セミファイナリスト、2011年アンリ・マルト国際コンクール(ドイツ)ファイナリスト、2013年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クロアチア)で優勝、オーケストラ賞、オルフェウス室内楽コンクール(スイス)優勝、2016年スヴィツァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア)第2位、2018年コブプミュージックアワード室内楽コンクール(イタリア)第2位。

2012年度シャネル・ビグマリオン・デザ・アーティスト。東京交響楽団と録音したベートーヴェン・ヴァイオリン協奏曲〜第3楽章、マスケタイスの瞑想曲が日経ミュージックセレクションCD「モーニング・イン・クラシック」に収録された。2017年にキングレコードよりデビューアルバム「Mai favorite」をリリース、2020年「ルドン、ローレック展」(三菱一号館美術館)のオーディオガイド、並びにタイアップCDに演奏が使用された。使用楽器は1683年製のニコロ・アマティ。



川口成彦 (KAWAGUCHI Naruhiko) Piano

1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位、第1回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール優勝、フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭(ワルシャワ)をはじめ欧州の音楽祭にも出演を重ねる。協奏曲では18世紀オーケストラ、[ohl]Orkiestra Historycznaなどと共演、2018年にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催した。またモダンピアノでは2016年にアメリカにて世界的オーボエ奏者ニコラス・ダニエルと共にブーランクの「オーボエ、バソーンとピアノのための三重奏曲」の最終稿の世界初演を行っている。東京藝術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガールの各氏に師事。欧州のレーベルからリリースされたCDに加え、2018年には自主レーベル MUSIS を立ち上げ、第一弾としてバルトークの「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」をアナログレコードでリリースする。またスペイン音楽をこよなく愛し、2019年にCD「ゴヤの生きたスペインより」を発表する(レコード芸術/朝日新聞特選盤)。

2020年にはACOUSTIC REVIVEより「ショパン夜想曲&小品集」を発表。第46回日本ショパン協会賞受賞。

モーツァルト ソナタ全曲演奏会 (2021年~2023年)

- 第1回 「パ・リ・ソナタ集」 2021年1月13日(水)
- 第2回 「1781年 vol.1」 2021年7月28日(水)
- 第3回 「1781年 vol.2」 2022年1月15日(土)
- 第4回 「さらなる深みへ vol.1」 2022年7月16日(土)
- 第5回 「さらなる深みへ vol.2」 2023年1月7日(土)



世界に羽ばたく才能あふれる
 トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
 こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
 美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、
 演奏者と参加者とわたしたちの、
 三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
 サロンメンバーズ
 追加募集中!



誕生。
 クラシック音楽サロン、
 宮益坂、
 渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 I L A (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

